

幼小中一貫校づくりに関するQ&A⑨

平成28年2月25日発行

今年4月に「福部未来学園」が開校します。「福部未来学園」の学園歌については、鳥取市在住の山根万里さんがすてきな曲をつけてくださいました。4月20日（水）の「開校記念式」で披露します。



さて、平成28年4月段階では、幼稚園、小学校、中学校が現在ある場所でそれぞれ開校することはお伝えした通りです。では、平成30年度に「施設一体型」になったらどのような教室配置になるのか・・・今回はその疑問にお答えします。

Q1 「施設一体型」校舎になったら 教室などの配置はどうなるの？



A1 幼小中一貫校推進委員会での協議を経て、概ね以下のような教室配置案が決まりました。具体的な平面図は、改めて紹介します。

現教室棟・階		教室名
福部小学校棟	1階 初等ブロック フロア	校長室、職員室、保健室、相談室 多目的ホール（260席）※ランチルームとしても利用する 5歳児室、1年教室、2年教室、特別支援学級教室 和室、地域ボランティア室
	2階 中等ブロック フロア	多目的ホール（80席） 図書館兼情報センター（コンピュータ室） 3年教室、4年教室、5年教室、特別支援学級教室 多目的室（少人数指導等）、教材室
	3階 高等ブロック フロア	理科室、理科準備室、音楽室、音楽準備室、教科室 生徒・児童会室 6年教室、7年教室、8年教室、9年教室 多目的室（少人数指導等）、教材室
特別教室棟 福部中学校	1階	家庭科室、技術室、準備室
	2階	被服室、美術・図工室、準備室

※初等ブロックに設ける「和室」は5歳児の昼寝や「みらい科」実施の際の日本文化（華道・茶道など）を体験するスペースとして活用します。

※小学校の体育館は主に「体育館」として運動遊び（幼稚園）、体育、社会体育などを行います。中学校の体育館は主に「講堂」として、儀式的行事や文化祭などを行います。

※「ランチルーム」に代わる施設として、1階に260席、2階に80席の「多目的ホール」を設置します。給食やお弁当を持ち寄り一緒にランチタイムを過ごしたり、各ブロック別の集会や教室ではできない学習活動を行ったりすることが可能となります。

Q2 「施設一体型」校舎に向けての工事はいつから始まるの？



A2 平成30年度の「施設一体型」校舎完成に向け、①工事のスケジュールの決定→②予算計上→③議決→④発注準備→⑤工事発注→⑥入札→⑦工事施行業者の決定といった流れが必要となります。したがって、実際に改修・増築工事が始まるのは、「平成29年5月」頃になる予定です。

「10年間の学びの場」としての高機能で多機能な学習環境の整った学校づくり、「集団生活の場」としての健康的かつ安全で快適な学校づくり、さらには「地域との連携の場」として地域に開かれた学校づくりをめざし、準備を進めていきたいと思えます。

【お知らせ】

—幼小中一貫校「福部未来学園」開校記念式を行います—

1 主旨

平成28年4月より、福部未来学園中学校（小学校併設型中学校）、福部未来学園小学校（中学校併設型小学校）、福部未来学園幼稚園が、幼小中一貫校として新たなスタートを切るにあたり、制定された学園歌・学園章を披露し、教職員・保護者・地域関係者・児童生徒園児及び教育関係者とともに新たな門出を祝すために、開校記念式を行う。

2 日時

平成28年4月20日（水） 午前10時 開式

3 場所

鳥取市立福部未来学園中学校体育館（講堂）

4 その他

- ・来賓として深澤義彦鳥取市長がご臨席くださいます。
- ・式典の中で、学園歌・学園章の披露と感謝状の贈呈を行います。また、学園歌については、児童生徒園児等による斉唱を行います。



文責：幼小中一貫校推進委員会啓発部会 長石 彰(福部中学校教頭)